

「令和7年度福島県産農産物等流通実態調査」

報告書

令和8年3月

農林水産省

(目次)

序 事業概要と本資料の構成	1
1 調査結果の全体像	7
2 生産者・事業者へのアンケート調査	35
3 消費者へのアンケート調査	97
4 福島県産品の取扱拡大に向けた方策の調査等	137
5 品目別調査結果 米	179
6 品目別調査結果 牛肉	235
7 品目別調査結果 桃	281
8 品目別調査結果 あんぽ柿	331
9 品目別調査結果 ピーマン	379
10 品目別調査結果 ヒラメ	419
11 品目別調査結果 その他の品目	457
(参考) 県産品重点 6 品目の出荷量と価格	661

序 事業概要と本資料の構成

事業概要

- 事業名
 - 令和7年度福島県産農産物等流通実態調査委託事業
 - 平成29年度から実施している事業である。

- 事業目的
 - 本事業では、福島県の農林水産業の再生に向けて福島県産農産物等の販売不振等の実態と要因を明らかにし、主要品目別に生産から流通・販売に至るサプライチェーンの各段階における流通実態の調査及び分析を継続的に実施するとともに、福島県産品の取扱拡大に向けた方策の調査等を実施し、その結果を今後の施策の検討に活用する。

3

事業概要

- 事業内容
 - 調査及び分析の実施
 - 事業者に対するヒアリングとアンケート、消費者に対するアンケート、事業者が保有するデータの収集、政府統計等の公的データの収集を行った。
 - 価格差が残っている品目について、価格差の要因を把握するために事業者ヒアリングを実施した。
 - また、過年度調査では、小売業者・外食業者において消費者の福島県産の購入姿勢に対して認識の齟齬が残っている点や福島県産牛肉がハレの日や贈答用に購入されにくいという点が課題に残った。そのため、認識の齟齬の解消のための方策調査及び福島牛のハレの日・贈答需要創出のための調査を行った。
 - これらの調査により、福島県産品の流通量・取引価格・流通経路といった流通実態等を把握するとともに、課題の解決に向けた分析を行った。

 - 検討会の開催
 - 客観的で信頼性の高い調査を実施するとともに、効果的・効率的な取りまとめを行うために、検討会を開催した。
 - 検討会には、学識経験者、実務家、農林水産省、復興庁、経済産業省、福島県が参加した。

4

本資料の構成

- 本資料は、以下の構成により作成されている。

章No.	章タイトル	概要
1	調査結果の全体像	本事業の要点として、主に第2章から第4章の内容について、ポイントをまとめた。
2	生産者・事業者へのアンケート調査	生産者、事業者のそれぞれに対して、福島県産品の生産状況や取扱状況、仕入時における重視点等についてアンケート調査を行い結果を分析した。
3	消費者へのアンケート調査	消費者に対して、福島県産品の価格回復に向けて重要と考えられるブランド力についてアンケート調査と分析を行った。また、調査対象品目の購入時における重視点等についてアンケート調査を行い結果を分析した。
4	福島県産品の取扱拡大に向けた方策の調査等	認識の齟齬の解消のための方策調査及び福島牛のハレの日・贈答需要創出のための調査を行った。

5

本資料の構成

章No.	章タイトル	概要
5～10	品目別調査結果 (重点6品目)	重点6品目（米、牛肉、桃、あんぼ柿、ピーマン、ヒラメ）について、公的データを整理するとともに、事業者へのヒアリング結果や追跡調査による価格形成の分析等を記載した。
11	品目別調査結果 (重点6品目以外の19品目)	福島県産農産物等19品目について、公的データを整理するとともに、消費者アンケートの結果を記載した。

6